

# 県遺族通信

発行：一般財団法人

岡山県遺族連盟

(086) 271-7175

令和7年4月20日

No. 8

## 令和7年度事業計画決定

（理事會・評議員會開催）

県連盟では、3月14日（金）に理事會、同じく27日（木）に評議員會を開催し、新年度の事業計画案及び予算案を審議・決定しました。事業計画の概要は次のとおりです。

### 【事業計画の概要】

#### 1 英霊顕彰運動の推進

- (1) 総理・閣僚等の靖國神社参拝の継続・定着運動の推進並びに国立の戦没者追悼施設建設構想の阻止
- (2) 知事等、各界代表の岡山県護國神社参拝
- (3) 市町村における慰霊祭等の実施
- (4) 岡山県護國神社並びに忠魂碑等の護持の実施
- (5) その他
  - ① 靖國神社、県護國神社の慰霊行事等への奉賛協力
  - ② 市、町、村、地区等の慰霊行事等への奉賛協力
  - ③ 旧陸軍墓地慰霊行事に対する奉賛協力
  - ④ 全国戦没者追悼式への遺族

- ⑤ 代表の派遣
- ⑥ 戦没者追悼式
- ⑦ 巡拝事業の実施
- ⑧ 慰霊友好親善事業及び遺骨帰還事業、政府及び日本遺族會主催の戦跡慰霊巡拝事業への参加者派遣及び参加促進

#### 2 処遇改善運動の推進

- (1) 公務扶助料等の改善及び全国戦没者追悼式への参列者拡大の要請

#### 3 組織の充実強化

- (1) 孫や曾孫等の入会を推進し県単位の青年部の拡大強化を推進し後継者育成研修会・勉強会などを開催
  - (2) 孫・曾孫等を含めた合同研修会や女性部研修会を実施
  - (3) 各遺族會の研修会等への孫、曾孫等の参加と意識醸成
  - (4) 「県遺族通信」の年2回発行、ホームページによる情報発信、「日本遺族通信」の購読推奨
  - (5) 終戦八十周年記念・平和の語り部活動への取組
- ① 戦争の悲惨さを体験した遺族が、青年部と一体となり、遺族會活動を次世代に継承。

### 県遺族代表者大会開催

- ① 語り部事業の周知を図るとともに、平和の語り部の発掘・育成や平和祈念館での語り部活動等を実施。
- ② 各遺族會における「語り部の会」の企画・実施、市町村の追悼式や忠魂碑等での慰霊祭等での語り部の実施
- ③ 財源の確保
- ④ 公益目的支出計画の実施期間等を見据えた会の運営
- ⑤ 県連盟及び各遺族會とも、各自自治体への財政支援の要請
- ⑥ 高齢者の福祉充実に関する事業
- ⑦ 百歳長寿の祝いと一人暮らしの妻への慰問
- ⑧ 各遺族會における一人暮らし遺族に対するボランティア活動
- ⑨ 遺族からの相談対応

11月30日（土）に「岡山芸術創造劇場ハレノワ」で、岡山県戦没者遺族代表者大会を開催。約六百人の遺族代表が参加して、



県知事代理の上坊勝則副知事や福田司県議會議長代理、本県選出の衆参國會議員、そして水

### 第79回全国戦没者遺族大会に参加

落敏栄日本遺族會會長などが出席した。大会では、総理等の靖國神社参拝の定着や特弔の継続・増額、平和の語り部などの重点要望を始めとする来年度政府予算案の概算要求に計上された遺族処遇改善項目の完全実現などを決議した。

令和6年12月10日（火）、東京の自由民主党會館で、全国戦没者遺族代表約三百人が参集し、国会議員176人が出席して、第79回全国戦没者遺族大会が開催され、令和7年度政府予算に要望事項が完全実現するよう決議がなされました。県連盟からは、大月理事長をはじめ6名の役員を派遣いたしました。本県参加者は、大会終了後、水落敏栄日本遺族會會長ともども加藤勝信財務大臣に直接陳情したほか、阿部俊子文部科学大臣や地元選出の自民党国会議員に対しいくつかの要望事項を提出しました。



を望む活動を行いました。

## 特弔継続・増額決定 第十二回特別弔慰金 支給のご案内

遺族一丸となった活動の結果、悲願の特別弔慰金の継続・増額が認められました。支給金額は5千円増額され、年5万5千円となりました。

特別弔慰金は、戦没者の死亡当時のご遺族で、令和7年4月1日時点で遺族年金などを受けられない場合に、支給されます。

戦没者の子や兄弟姉妹等のうち、支給順位の最も高い方が対象となります。対象の方が複数おられる場合は、代表の方お一人が受け取れます。

■支給内容…額面27万5千円の記名国債(5年償還)

■請求期限…令和10年3月31日  
■支給の対象となる親族の範囲や請求手続きなどに関する詳しい内容は、お住まいの市町村の援護担当課又は岡山県庁福祉企画課援護班(TEL:086-267320)へお問い合わせ下さい。

## 「岡山の塔」戦没者追悼式／沖繩戦跡慰霊巡拝事業の実施

県連盟では、岡山県の補助事業として沖繩地域戦跡慰霊巡拝を58名の参加を得て、11月



6日(水)から8日(金)の2泊3日の日程で実施しました。2日目の11月7日(木)には、午前11時から糸満市摩文仁の丘に建立された「岡山の塔」で、来賓として木村俊之岡山県知事を代理、久徳大輔岡山県議会議長をはじめ、沖繩県からは県知事や県議会議長、糸満市長のそれぞれが代理、宮城博沖繩県遺族連合会副会長らのご出席をいただき、沖繩並びに南方地域岡山県出身戦没者追悼式を執り行いました。

式では、大月健一県連盟理事長が式辞を述べ、続いて岡山県知事や県議会議長が追悼の辞を述べ、その後参加者全員で献花を行いました。戦没者のご冥福をお祈りしました。



## 女性部・青年部研修会 「平和の語り部」実践編

岡山県遺族連盟では、1月21日(火)に岡山市内で、女性部員や青年部員など48名の参加を得て、「令和6年度岡山県遺族連盟女性部・青年部研修会」を開催しました。

研修会は、大月理事長の「戦争の悲惨さを身をもって体験した我々遺族の記憶は、戦争の惨禍を繰り返さないための貴重な教訓であり、語り継いで行かなければならない」との挨拶で始まり、波多女性部長、江本青年部長の挨拶と続き、

研修では、日本遺族会の細貝洋子広報室長にお越しいただき、「実践編」と題して、語り部の実践策について、熱心かつ具体的に説明がありました。続いて、実際に語り部講話を3人の方が行い、会場からは、私もやってみたいとか、どうやって学校に

アプロチといつからか、どうやって学校に、質問や意見が出ると、研修会が

## 「平和の語り部」講話実施 岡山市灘崎小学校で

岡山市灘崎遺族連合会の近藤嘉也会長は、1月24日に岡山市立灘崎小学校3年生47人に「みんなが学ぼう戦争後の暮らし」と題して、父からの便りや自筆の岡山空襲の絵、戦後の暮らしや小学校生活などを紹介しながら、平和の大切さを訴えていきました。



近藤会長が校長先生にお話し、初めは緊張も、後日、生徒の感想文が届くことになりました。

## 「平和の語り部」講話者募集中です

県連盟では、平和の語り部の講話者を募集しています。学校等からの要請があれば、お近くの講話者を派遣したいとお考えをお待ちしております。皆様のご応募をお待ちしております。申込先…県連盟(TEL:086-2717175)まで。

**お慶び**

**厚生労働大臣表彰**

令和6年度の援護事業の功勞者として、岡山県遺族連盟から次の2名の方が厚生労働大臣表彰を受賞されました。

■藤原 信子 氏

(倉敷市倉敷遺族連合会副会長)

■横田 秀夫 氏

(総社市遺族連合会副会長)

受賞されたお二人は、多年にわたって、県連盟や遺族連合会の役員として、組織の充実・発展を図るとともに、遺族の福祉向上に貢献され、援護事業の功績が特に顕著であると認められ、たものです。心からお礼とお慶びを申し上げます。

**老人福祉事業・百歳長寿の祝い**

本年は県下2遺族連合会2名のご遺族がめでたく百歳(本年は大正13年生まれ)の長寿を達成され、岡山県遺族連盟からおよろこび状と記念品を贈り慶祝の意を表しました。また、戦没者の一人暮らし妻の皆様(6名)には、慰問文と記念品をお贈りし、お慰めしました。

■木庭 夏子(妻) 氏

(岡山市東区瀬戸町竹原)

■長田 一恵(姉) 氏

(倉敷市木見)

**戦没者遺児による慰霊友好親善事業のご案内**

日本遺族会では、戦没者遺児に対する慰藉の一環として、厚生労働省から補助を受けて、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」を行っています。

令和7年度は、洋上慰霊とフィリピン地域のみを実施する予定ですが、洋上慰霊は既に募集が終了しており、申込みできるのはフィリピン地域だけです。なお、この事業は、令和7年度をもって終了予定で、最後の実施となります。

■参加資格・戦没者の遺児  
ただし、下段の実施予定地域以外の方は参加できません。

実施地域	実施時期	募 集 員 人	申 込 締 切
洋上慰霊	令和7年 6月1日~11日	300人	申込終了
フィリピン (1次)	令和7年 11月下旬	120人	8月中旬
フィリピン (2次)	令和8年 3月中旬	120人	1月中旬

3分の1補助が国より受けられます。

■日程等の詳細やお申込みについては、県連盟事務局(TEL:086-2711717)まで。

**令和7年度政府主催慰霊巡拝のご案内**

令和7年度の厚生労働省主催の遺族代表による慰霊巡拝については、次のとおり実施される予定です。

実施地域名	実施時期	募集人員	県申込締切	実施地域名	実施時期	募集人員
中国東北地方(旧満洲地区全域)	8月19日~8月29日	15名	4月18日(金)	硫黄島(第1次)	11月中旬	100名
インドネシア	9月3日~9月12日	15名	4月23日(水)	パラオ諸島	1月22日~1月29日	20名
東部ニューギニア	9月17日~9月25日	20名	4月30日(水)	フィリピン	2月4日~2月13日	75名
カザフスタン共和国	9月2日~9月10日	15名	5月9日(金)	硫黄島(第2次)	令和8年2月中旬	100名
ウズベキスタン共和国	9月25日~10月3日	15名	5月23日(金)	ミャンマー	令和8年3月上旬	15名
トラック諸島	10月22日~10月30日	15名	5月28日(水)			

**参加資格**

岡山県にお住まいで、慰霊巡拝を行う戦域における戦没者の配偶者(再婚した者を除く)、父母、兄弟姉妹の配偶者、遺族(子・兄弟姉妹)の配属者、戦没者の孫、戦没者の甥・姪であること。但し慰霊巡拝に参加しない方が優先されます。

■参加費用(実費)の目安は、

海外地域の場合はおよそ25万円、47万円、硫黄島の場合はおよそ2万円です。

■問合先・申込先  
日程や参加費用など詳細は、岡山県庁子ども福祉課援護班(TEL:086-22617320)にお問合せ下さい。

**「岡山陸軍墓地」彼岸を前に清掃活動**

岡山市北区津高にある岡山陸軍墓地で、3月8日(土)に陸上自衛隊三軒屋駐屯地の皆さんら11人が参加して、清掃活動を実施しました。

陸軍墓地は、明治40年(1907年)開設の第十七師団が、岡山陸軍墓地として設置したもので、約1万6千平方メートルの敷地に日中戦争初期の戦没者(満州事变107柱、シナ事变410柱)の墓碑517基が鎮座しています。

この日は、墓地内の草刈りや落ち葉の撤去、雑木の処理など、3月19日の春季彼岸祭を前に清掃奉仕活動を行ったものです。



